

研究可能テーマ

研究可能テーマ	研究指導者	受け入れ可能院生数
<p>(1)都市生活環境と健康に関する疫学研究とリスク評価</p> <p>都市生活の急速な変化に伴って従来は存在しなかった環境要因の安全性が問題になることが多くなった。当教室では国内外の諸機関との共同研究として、商用周波数電磁界暴露と小児がんの症例対照研究、携帯電話利用と脳腫瘍に関する症例対照研究等を実施しており、それらの疫学研究に実際に参加して、計画策定、調査実施と情報収集、解析の各段階で研究を行う。また、世界中で報告された関連する医学文献を系統的に収集し、その質的評価、メタ分析、プール分析等による量的評価等を通じて安全性に関するリスク評価を行う。これらの活動を通じて、疫学研究を企画、実施する能力を身につけ、さらに科学的根拠に基づくリスク評価の能力も身につけることが可能である。</p>	山口教授	1
<p>(2)種々の健康増進・疫学予防対策の評価に関する研究</p> <p>健康増進あるいは疾病予防に対する施策としては、ワクチン接種、喫煙対策、生活指導等の一次予防対策、がん検診等の二次予防対策など、様々なプログラムが実施されている。これらのプログラムについて科学的手法によって事前評価あるいは事後評価を行い、有効性を確認することの重要性が強調されている。当教室では、高齢者に対するインフルエンザ予防接種の有効性の検討、喫煙対策の有効性の検討等を疫学的手法を用いて実施しており、これらの研究に参加して、プログラム評価における疫学研究の実施を習得し、予防対策評価のための疫学研究を実施する能力を身につけることが可能である。</p>	山口教授 小島原准教授	1
<p>(3)臨床における診断・治療方法の疫学的評価に関する研究</p> <p>当教室では臨床医学の教室との共同研究として、診断治療方法の疫学的評価に関する研究を実施している。このプログラムでは臨床系の大学院生を一定期間受け入れ、実際の臨床上の問題を研究テーマとして、研究計画の策定から研究の実施、統計解析まで行う。</p>	山口教授 岡本教授 小島原准教授	2